

1975 ▶ 1980

昭和50年—昭和55年

社名を株式会社ムトウへ

1975年（昭和50年）にはJIS A 5757の制定、日本シーリング工事業協会結成等もあり、建築防水としてシーリング工事の位置づけが明確になったのもこの頃である。

同年、組織変更により(有)武藤工業所から(株)ムトウへ改名した。翌年増資も行い、資本金を50万から200万とした。

1978年（昭和53年）産業医科大学（大成建設）、ホテルニューオータニ（大成建設）、渡辺通り再開発ビル（竹中工務店）等の大型物件のシーリング工事を施工した。

1979年（昭和54年）福岡市美術館（戸田建設）等の大型物件のシーリング工事受注にこぎつけ、当時は第二次オイルショックの時代ではあったが、シーリング技術管理士制度の発足など業界は成長を続けていた。

しかし、1980年（昭和55年）円高、ドル安に伴い景気は下降に転じ「冬の時代」が訪れた。こうした中でも、福岡県庁舎、熊本市庁舎等大型物件のシーリング工事の安定受注もあり、また、新規事業に日照調整・飛散防止の硝子フィルム工事において3Mの代理店となり売上増を推し進め、不況の中(株)ムトウは成長をとげていった。

年	ムトウの動向
1975年 (昭和50年)	・12月22日 (株)ムトウに組織変更 資本金50万円 取締役 武藤八千代、楳原征雄、武藤英治、角又三郎 ・武藤英治 入社（武藤貞 実弟） ・慰安旅行（京都・奈良・伊勢）
1976年 (昭和51年)	・2月6日 資本金200万円に増資 ・7月20日 武藤貞 次男（剛）誕生
1977年 (昭和52年)	・大型物件のシーリング工事受注にこぎつけ、業界と共に成長を続けた
1978年 (昭和53年)	・日照調整フィルム 住友3Mスコッチテイント代理店となる ・大型物件の受注が重なり、売上が3億の舞台に
1979年 (昭和54年)	・家庭用太陽熱温水器事業に参入
1980年 (昭和55年)	・12月 (株)サンワード 設立 ガラス用フィルム・太陽熱温水器等環境事業の走りとして分社



社名変更の挨拶状（1975年）

4号 一F版一 日刊（日曜日除く） 九し 建設 日 報 社 報（第二種郵便物指定） 昭和51年（1976） 9月1日（水曜日）（2）

新しい研究活動の場に 長崎大学医学部付属病院 新病棟が落成

設計を担うとして (有)安井建築設計事務所 取締役社長 佐野正一

大臣表彰を喜ぶ 大成建設株式会社福岡支店 支店長 淡河義正

工事の概要

長崎大学医学部付属病院新病棟落成の記事（九建日報、1976年9月1日付）